




ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

ボーリングNO.

シートNO.

ボーリング名	B-6	調査位置					北緯	36° 19' 27.0000"		
発注機関	栃木県栃木土木事務所				調査期間	2007-02-21 ~ 2007-02-21		東経	139° 49' 59.0000"	
調査業者名					主任技師			現場代理人	コ	ア
孔口標高	36.72 m	角度		方向		地盤勾配		使用機種	試錐機	ハンマー
総掘進長	8.45 m	度	0°	0.00°	鉛直	90°	0.00°	エンジン		ポンプ

標尺	層高	厚	深	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位(m) ／ 測定月日	標準貫入試験							原位置試験		試料採取			室内試験	掘進月日
												深度	10cmごとの打撃回数			打撃回数 ／ 貫入量		深度	試験名および結果	深度	試験番号	採取方法			
													0	10	20								貫入量		
(m)	(m)	(m)	(m)								(m)	(m)						(m)		(m)					
1	35.62	1.10	1.10		シルト(M)	暗茶			含水量、粘性は共に中程度。		02/21 1.28 ――	1.15				16									
	35.02	0.60	1.70		粘土混り砂礫(GS-C)	淡茶			径20～40mmの礫が主体。 粘土が混入している。			1.45	4	5	7	30	16								
2					礫混り砂(S-G)				粗砂が主体。 径5～20mm程度の亜円礫が混入している。 含水量は多い。			2.15				14									
												2.45	4	5	5	30	14								
3												3.15				18									
						緑灰		中ぐらい				3.45	5	5	8	30	18								
4												4.15				15									
												4.45	5	4	6	30	15								
5												5.15				17									
	31.12	3.90	5.60									5.45	6	5	6	30	17								
6					砂混りシルト(M-S)	乳灰		軟らかい	細砂が混入している。 含水量は多く、粘性は強い。			6.15				3									
	29.82	1.30	6.90									6.45	1	1	1	30	3								
7					礫混り砂(S-G)				粗砂が主体。 径5～20mm程度の亜円礫が混入する。 含水量が多い。			7.15				13									
						緑灰		中ぐらい				7.45	4	4	5	30	13								
8												8.15				12									
	28.27	1.55	8.45									8.45	3	4	5	30	12							02/21	